

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

広島高速5号線シールドトンネル工事については、平成30年9月に二葉の里側から掘削を開始し、昨年10月から牛田地区の住宅地区間の掘削を進めているところであり、地表面沈下の抑制などの対策を取りながら、慎重に工事を進めている。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア 牛田地区におけるシールドトンネル工事の進捗状況等

今月6日時点において、シールドトンネル工事の延長約1400mのうち二葉の里側から約738m地点まで、牛田地区の住宅地区間では約350mのうち約97m地点まで到達しており、住宅地区間の掘削を開始して以降、シールドマシンのトラブルにより2回掘削を停止し臨時点検を行っている。これまでの掘削において、地表面沈下、騒音及び振動は予め設定している管理値の範囲内に収まっている。

住宅地区間では計画的なカッター交換を3回予定しており、2回目のカッター交換を約757mの地点で行うこととしている。

イ 今後の工程について

牛田地区においては、地下水位の低下に伴う地表面沈下等を管理値内に収めるよう万全な施工管理を行いながら慎重に掘削を進めているところであり、地下水位の低下に繋がるカッター交換を出来るだけ防止するため、カッターの欠け等が生じないように掘進速度を抑制するなどの対策を実施している。

こうした対応や硬質な岩盤の掘削によって時間を要しており、残る牛田地区の今後の掘削の見込み等を踏まえると、これまで予定していた令和4年度の本線完成が困難な状況となっている。引き続き、住民の安全・安心の確保を第一に工事を進めていく。

(3) スケジュール

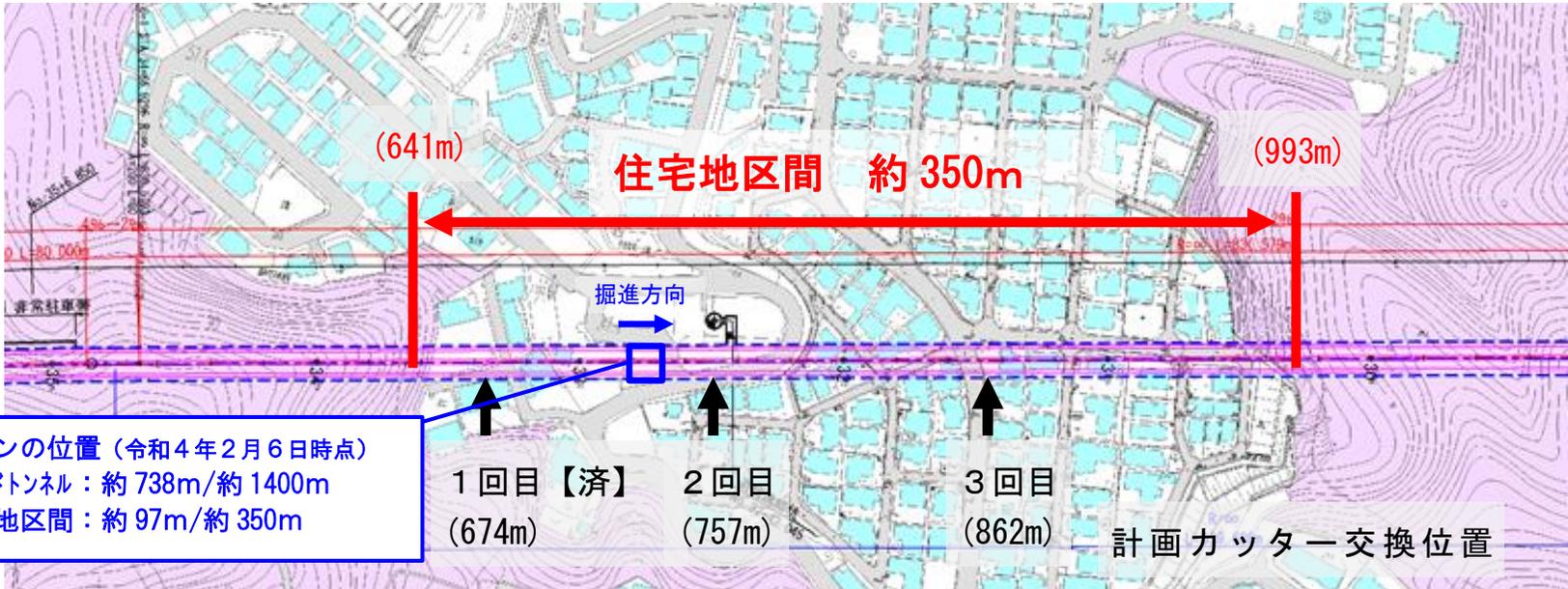
シールドトンネル工事の完成時期については、牛田地区の掘削の見通しがたった段階で整理し議会へ報告する。

(4) 予算（単県）

令和3年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 1,750百万円

(5) 今後の対応

引き続き、事業主体である公社や広島市と連携し、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。



広島高速5号線 L=4.0km

